

県少年の主張発表大会

前向きに生きる

少年の主張発表大会は、中学生が日常生活の中で感じていることや考えていることを発表することにより、若者としての誇りと自主性を育てると共に、同世代の少年の意識の啓発や青少年の健全育成に対する大人の理解と関心を深めるために毎年行われています。

3年生中川大樹さんが、芳賀地区大会で最優秀賞となり、9月19日に行われた県大会では奨励賞を受賞しました。



▲中川 大樹さん

中学生になり、僕には小学生の時にはなかった不安や悩みがいくつもあります。友達、先生そして家族に相談できる悩みもあれば、誰にも相談できない悩みもあります。思うように物事ができない焦りでイライラして周囲にあたり、反抗的な態度をとってしまったり、骨折して間もない頃、僕は好きなアーティストの映像配信を見ながら、SNSである女の子の書き込みを見つけました。彼女もそのアーティストのファンでした。元気な書き込みからは想像ができなかったのですが、彼女はがんに侵されています。彼女はがんと闘い、この日の配信を楽しみにしていました。朝、息を引き取りました。

彼女の書き込みからは「生きているから音楽を楽しめる、だから辛くても乗り越えてみせよう」と前向きな気持ちが感じられました。がんの治療は決して楽なものではないはずですが、命の期限が迫っているのに、それでも彼女は生きていることを楽しんでいるように思えました。彼女の生き抜くことへの信念に触れ、僕は心を揺さぶられました。僕が今まで悩んできたことは彼

女のものよりもちっぽけで、そして自分次第で、解決できるのだと気づきました。だんだんと骨折も治り、普通の生活ができるようになりました。なんとか部活動の大会に出場したものの思うような成績は残せませんでした。でも僕には次があります。骨折してから抱いた感情をバネにして前向きになれば必ずや結果はついてくる。と信じて、何事も頑張ろうと思えました。それと同時にたくさんの人に助けられ、人の心の温かみや一人一人の良いところが見えてきました。そして改めて家族や友達など周囲の人たちへの感謝の思いで、心がいっぱいになりました。骨折や女の子の書き込みが僕の心を大きく成長させてくれました。

現在、自分の思いを打ち明けられずに心を閉ざし、遂には自ら命を絶ってしまう人が増していると感じました。その人たちにあの女の子のような強い気持ち、僕が抱いた周囲の人たちに

芳賀中学校 三年 中川 大樹

支えられているという思い、それらがあつたのなら救われていた命もあったのかもしれない。

生きていけば、誰にでも悩みはあると思います。その悩みに押しつぶされたいために多くの人と関わり、人生経験を豊富にするのが大切なのだと思います。周囲の人たちに支えられていることに気づき、感謝の気持ちを持つこと、さまざまな経験から得られた広い考え方を身に付けることで、悩みを乗り越えていくことができると思えます。生きる目的など難しく考えることは無いと思います。友達と話したい、おいしいものを食べたい。そんな風な、普通の願いで良いと思います。なぜならそれは、生きていなければ成すことのできないものだからです。この命が続く限り、今この一瞬を大切に生きることが、未来を歩んでいく僕たちに必要なことではないでしょうか。

芳賀中吹奏楽部が東関東吹奏楽コンクール初出場!!

芳賀中学校吹奏楽部は、8月9日に宇都宮市文化会館で行われた第57回県吹奏楽コンクール中学B代表選考会で見事県代表に選出されました。そして9月19日に、よこすか芸術劇場で行われた第21回東関東吹奏楽コンクールに初出場し、銀賞を受賞しました。

演奏曲はギリングハムの「エアロダイナミクス」で、昨年からの東関東コンクール出場を目標に練習に励み、創部以来初の快挙を成し遂げました。



稲川聡美部長のコメント

東関東コンクールに出場することができたのは、夏休み中あきらめずに、部員全員で協力して頑張ったからです。

本番は慣れないホールで緊張しましたが、県代表という誇りを持って、楽しく演奏することができたのでよかったです。

ベルモック(道の駅はが内)がヘルシーグルメ選手権3連覇!!

道の駅はが内に工房を構えているベルモックが、「平成27年度とちぎのヘルシーグルメ選手権」の弁当部門で最優秀賞を受賞し、見事3連覇を達成しました。

このほか、ベルモックは、地元の養鶏場と連携して生み出したプリンやコロッケなど、地元の食材を利用した商品の開発にも積極的に取り組んでいることが評価され、「平成27年度とちぎ地産地消夢大賞」の優秀賞に輝きました。



「大地の恵み彩り弁当」

代表者 鈴木裕一さんのコメント



「見ておいしく、食べておいしく」を概念に、できるだけ道の駅はがの直売所で売られている野菜を使い「地産地消」でお弁当を作りました。彩りをよくするのが大変でしたが、大豆シートという新しい食材に出会い、芳賀町産の野菜を引き立てることができ、3年連続の受賞につながりました。

とちぎのヘルシーグルメ選手権とは?

おいしくて健康・栄養面に配慮し、かつ地域の食材や特色を踏まえたメニューを、県民から募って行われるコンテストです。4部門で競われ、弁当部門は今年7作品の応募がありました。